

2017年3月22日

U20000 チャレンジクラス レギュレーション補足

- ・グリップ剤不可とあるが、パーツクリーナーでのタイヤ洗浄は可能か？

⇒パーツクリーナーでのタイヤ洗浄は可能です。ただし余計な誤解を生じないように、グリップ剤はピット上に置かず、パーツクリーナーは必ずスプレーから使用するよう to してください。

- ・TT-01 のトラックやMシャーシのシルビアなどは1/14 や1/12 となっているがエントリーできないのか？

⇒ボディスケールの表示が異なるだけで、シャーシそのものは1/10 規格なのでエントリー可能です。

- ・ビスやナット、ターンバックルをアルミ製に変えた場合、計上となるのか？

⇒スチールビスについては計上しません。ただしチタンやアルミなど軽量化や車体の性能向上にかかる物については計上します。

- ・スプリングの計上ルールについて

⇒例えばソフト/ミディアム/ハードのセットで1200 円のスプリングと仮定した場合、その中でハードしか使わなかったとしても1200 円で計上します。

- ・ダンパーの流用について

⇒A 社のダンパーをB 社の車に、という流用は不可とします。ただし汎用製品として発売されているビッグボアダンパーなどの使用に制限は設けません。

- ・スケールボディの線引きについて

⇒基本的な考え方は「実車が存在していること」です。レース用エアロボディや架空デザインボディは原則禁止です。

- ・禁止例(架空)：M シャーシ用イモムシボディ、ライキリボディなど
- ・禁止例(競技)：プロトフォーム LTC-R、MAZDA6 など
- ・使用可能例：トレーラーヘッド(一般的にトラックと認識される)
- ・使用可能例：RAYBRIG NSX、ベンツ SLS AMG など(実車が存在している)

その他ご不明な点があればお問い合わせください。